

人間的不注 意 (誤操作)	2	1	3	問題入力ソフトウェアの再インストールを実施することで、以前のデータは消去されるが、再度パスワード設定可能できる機能を追加することで、ソフトウェアの利用不能となる危険性は回避できる。なお、この場合、以前のデータは消去されるため、データの再利用は不可となる前提である。	○	リスク回避	0
人間的不注 意 (誤操作)	1	2	3	問題入力ソフトウェアのデータ保存形式を全ての問題を1つのファイルにまとめ、暗号化にて保存する形式に変更する対策を実施することで、部分的に送付してしまう危険性を回避する。	○	リスク回避	0
人間的不注 意 (誤操作)	1	1	2	問題入力ソフトウェアで登録した問題データは、インターネット経由の問題登録サーバに送付するよう対策を行うことで、外部媒体の取り違いの危険性は回避する。	○	リスク回避	0

<p>人間的不注 意 (誤操作)</p>	2	1	3	<p>問題入力ソフトウェアのデータ保存形式を全 ての問題を1つのファイルにまとめ、暗号化 にて保存する形式に変更する対策を実施する ことで、消去を忘れた問題データは、当該問 題入力ソフトウェア以外の手段で閲覧できな い。また、問題入力ソフトウェアのパスワー ドは有効期限付きとする対策をとるため、経 年後も過去のパスワードが分からない場合は 閲覧することができない。さらに、問題入力ソ フトウェアの再インストールにて再度パスワ ード設定を行う場合は、過去のデータは消去 されるため、閲覧される危険性は回避され る。</p>	○	リスク回避	0
------------------------------	---	---	---	---	---	-------	---

<p>人間的不注 意 (誤操作)</p>	2	1	3	<p>問題作成者から送付された問題データは、暗号化にて保存する形式に変更する対策を実施する。閲覧後に消去を忘れた問題データは、当該問題入力ソフトウェア以外の手段で閲覧できない。また、問題入力ソフトウェアのパスワードは有効期限付きとする対策をとるため、経年後も過去のパスワードが分からない場合は閲覧することできない。さらに、問題入力ソフトウェアの再インストールにて再度パスワード設定を行う場合は、過去のデータは消去されるため、閲覧される危険性は回避される。なお、管理者は暗号化を解除した問題データの再利用が可能なため、再利用した問題データの取り扱いについての危険性は残る。</p>	○	リスク低減	1
<p>人間的不注 意 (紛失, お き忘れ)</p>	2	1	3	<p>問題入力ソフトウェアで登録した問題データは、インターネット経由の問題登録サーバに送付するよう対策を行うことで、外部媒体を使用せずサーバ上で一元管理されるため、他の媒体との混同による危険性は低減される。なお、管理者は暗号化を解除した問題データの再利用が可能なため、再利用した問題データの取り扱いについての危険性は残る。</p>	○	リスク低減	1

<p>人間的偶発的誤り(資源の誤用)</p>	2	0	2	<p>問題入力ソフトウェアのは、動作条件を満たしたWindowsPCであることを、依頼時に注意喚起することで、ソフトウェアの利用不可の危険性を回避する。本年度からは問題入力ソフトウェアをID, パスワードの通知によるインターネットサイトからのダウロード形式とするため、ID, パスワードの通知時にあわせて注意喚起を行う。CD-ROM等の外部媒体配布時に比べ、諸注意を理解せず実施することが少なくなると想定され、危険性の低減がはかれる。</p>	-	リスク低減	2
------------------------	---	---	---	---	---	-------	---

表17 「課題の発生可能性レベル」の考え方

「課題の発生可能性レベル」		「課題の種別レベル」	
		大きい： 2	小さい： 1
大： 2	「要対策レベル」： 大： 3, 4 今後1年以内に課題の発生が考えられ、発生可能性も大きい ため、セキュリティ事故が起こる可能性は高い。	「要対策レベル」： 中： 2 今後1年以内に課題の発生は考えられず、セキュリティ事故 が起こる可能性は低い。	「要対策レベル」： 中： 2 今後1年以内に課題の発生は考えられず、セキュリティ事故が起 こる可能性は低い。
小： 1	「要対策レベル」： 中： 2 今後1年以内に課題の発生は考えられず、セキュリティ事故 が起こる可能性は低い。	「要対策レベル」： 小： 1 今後1年以内に課題の発生は考えられず、セキュリティ事故が起 こる可能性はほとんど無い。	「要対策レベル」： 小： 1 今後1年以内に課題の発生は考えられず、セキュリティ事故が起 こる可能性はほとんど無い。
極小： 0	「要対策レベル」： 小： 1 今後1年以内に課題の発生は考えられず、セキュリティ事故 が起こる可能性はほとんど無い。	「要対策レベル」： 小： 1 今後1年以内に課題の発生は考えられず、セキュリティ事故が起 こる可能性はほとんど無い。	「要対策レベル」： 小： 1 今後1年以内に課題の発生は考えられず、セキュリティ事故が起 こる可能性はほとんど無い。